

令和4年度 いわてスマート農業推進シンポジウム 開催要領

1 目的

革新的な経営改善が期待できるスマート農業技術は、事例や現状を把握した上で、自らの経営に適した技術を導入することが重要である。そこで、各地の取組事例や製品紹介、関係者間の相互交流などを通じて、岩手県の実情に即したスマート農業技術の推進方策を検討する。

2 開催日時

令和4年8月26日（金）10:00～15:30（受付9:30～）
（同時開催：第75回岩手県全国農業機械実演展示会 8月25日（木）～8月27日（土））

3 場所

岩手産業文化センターアピオ会議棟 特別会議室ほか（滝沢市砂込 389-20）

4 主催

岩手県、いわてスマート農業推進研究会、北いわてスマート農業サロン

5 後援

（社）岩手県農業機械協会、（大）岩手県立大学、（国研）農研機構東北農業研究センター

6 参集対象

いわてスマート農業推進研究会会員、農業者、市町村、全国農業協同組合連合会岩手県本部、農業協同組合、農業共済組合、岩手県農業公社、岩手県立大学、岩手大学、東北農研、岩手農研、農業改良普及センター、各振興局農政担当部、農業関連機器メーカー、IT関係企業、県立農業大学校、県内の農業高校

7 内容

テーマ：「データを活用したスマート農業技術の実践」

（1）シンポジウム（10:00～15:00、2階 特別会議室）

- ・ 県外の先進事例や県内の取組事例、スマート農業の導入に活用できる事業について会員の理解を深め、現場での活用を促進する
- ・ 基調講演1 トップリバーが実践するデータ駆動型農業と人材育成
講師 有限会社トップリバー 代表取締役 嶋崎田鶴子 氏
- ・ 基調講演2 果樹におけるスマート農業体系
講師 仙台ターミナルビル株式会社 専門監 菊地秀喜 氏
- ・ 事例紹介1 北いわて地域における施設きゅうりの環境制御の取組について
発表者 岩手県農業研究センター県北農業研究所 専門研究員 赤坂尚生 氏
- ・ 事例紹介2 低コスト RTK-GNSS データロガーの活用について
発表者 岩手県農業研究センター 上席専門研究員 山口貴之 氏
- ・ 情報提供 スマート農業技術の導入に活用できる支援事業について
発表者 農業普及技術課農業革新支援担当 上席農業普及員 藤尾拓也

(2) ミニセミナー (10:00~15:00、1階 第2会議室、)

- ・スマート農業関連製品、システム、サービス等について会員企業等から活用方法を提案、参加者と意見交換する (30分×10コマ)

(3) 出前講座 (10:00~12:00、1階 第6会議室)

- ・企業等が提供するGISを活用した生産管理支援システムについて、導入を検討している方を対象に、参加者が自分の端末を持ち込み、実際の操作を含めて活用方法について参加型で研修する (事前申込制)
- ・講座1 経営、生産管理システムの活用のポイント
発表者 農業普及技術課農業革新支援担当 上席農業普及員 吉田徳子
- ・講座2 全農営農システム「Z-GIS」のスタートアップ講座 (実習形式)
講師 JA全農いわて営農支援部営農技術課 衣川優乃 氏

(4) 展示会 (10:00~15:30、1階 第3、4、5会議室)

- ・企業等が取り扱うスマート農業関連製品、システム、サービス等の展示
- ・会員間で産学官連携などにより製品化や機能改良した製品、システム、サービス等の展示
- ・大学や公的研究機関等による研究シーズのポスター展示

8 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- (1) 受付で入場者登録と入場証を着用いただいてから、入室してください。
- (2) 検温を行い、体温の高い (37.5度以上) 方は入室を控えていただきます。
- (3) 入室の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いします。
- (4) 感染拡大の兆候がある都道府県からの来場者は、当該地域の自粛要請に従っていただきます。
- (5) 各会場とも入場者数を制限して開催いたします。
- (6) 会場内で長期間マスクを外す飲食は、自粛してください。
- (7) **感染拡大の状況によっては、開催を中止**します。その場合は、研究会メーリングリスト等を通じてお知らせします。

9 問い合わせ先

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

いわてスマート農業推進研究会事務局

岩手県農林水産部農業普及技術課農業革新支援担当 藤尾

電話：019-629-5652 FAX：019-629-5664 メール：AF0005@pref.iwate.jp